



女スパイ

時雨マユミ

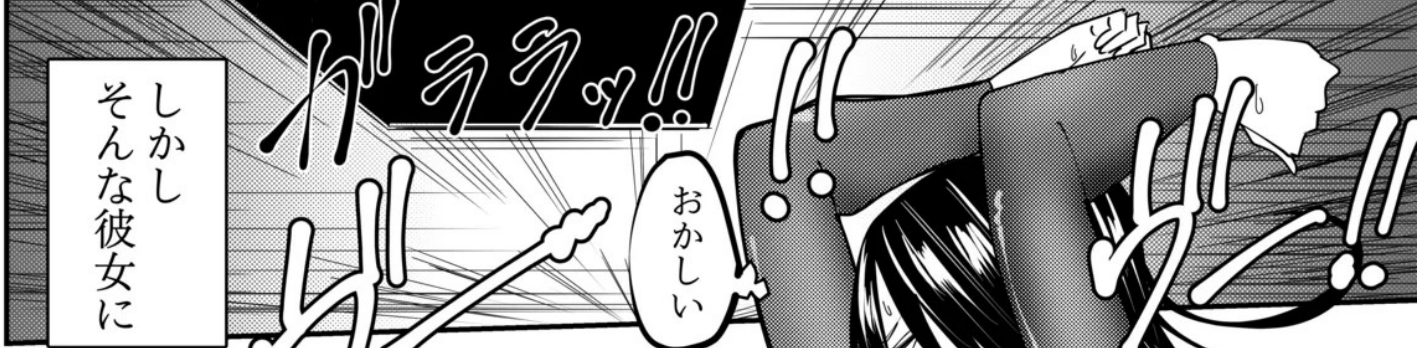
あらゆる  
非合法的な組織へ  
潜入するため  
彼女は

頭脳も身体も  
鍛え抜かれ  
犯し難い綺麗な美貌を  
兼ね備えていた

そのおかげで  
侵入・捜査・美人局  
なんでもござれの

エリート  
スパイである





しかし  
そんな彼女に

おかしい



潜入は  
完璧だった…

まるで  
蜘蛛の糸の  
ような

私が逃げられない  
ほど奥の部屋に  
来た瞬間  
なぜかブザーが…



手を上げて  
投降しろ!

動くな!

様々な  
魔の手が  
忍び寄り



大きな陰謀に  
巻き込まれる  
ことになる…

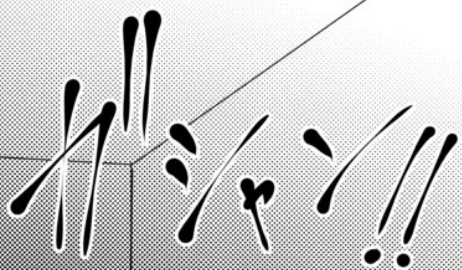
これは…  
ハメられたか  
…?

くそ

す…

手を  
縛られ

一時  
投降した  
マユミは



失策1

独房か？

ここは

とある  
小さな監禁部屋の  
椅子に縛られていた

何か…  
独特な雰囲気のある  
部屋だ…



ムムム

ムムム

ムムムムム



この女ね

ありがとう

ユキエ様  
例の賊は  
こちらに…



忍び込んだ  
ネズミは

…



まっ  
聞きたいことは  
たくさんあるけど  
…



どうせ  
口硬いだろうし

体に  
お仕置きを  
与えて

じっくり  
調教して  
口も股も  
割らせましょうか♡

!?

キッ♡

わっ!!  
はっ!!

すい♡  
すい♡



隙を突く事もできた  
のだがな…

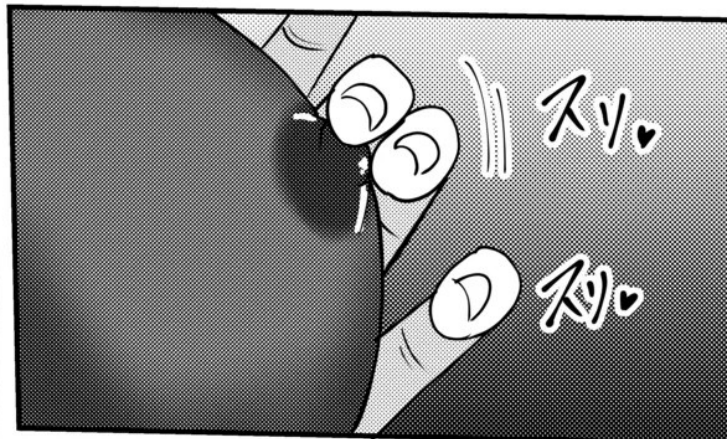
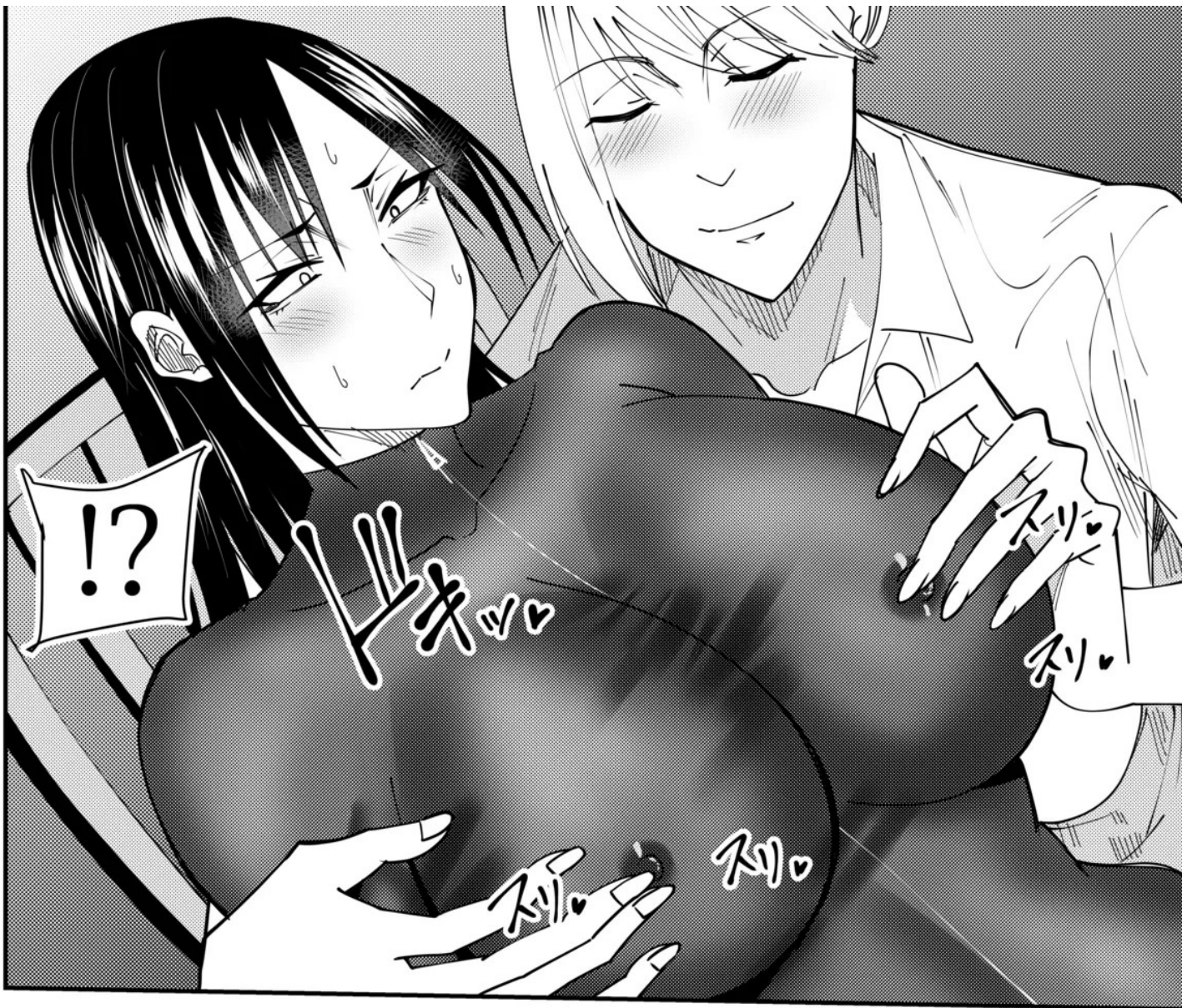


男であれば  
少し色仕掛けでもして



ふん…何をされようと私は屈服などしないが…

くっ…相手は女か…





私ね  
人が乳首で感じる  
姿を見るのが  
大好きなの♡

特に  
我慢してても  
感じだしちゃう  
シチュとかね♡



でも  
反面嬉しいわ



だって

私が初めて  
あなたの乳首を  
開発・調教して  
性感帯にできるんですもの



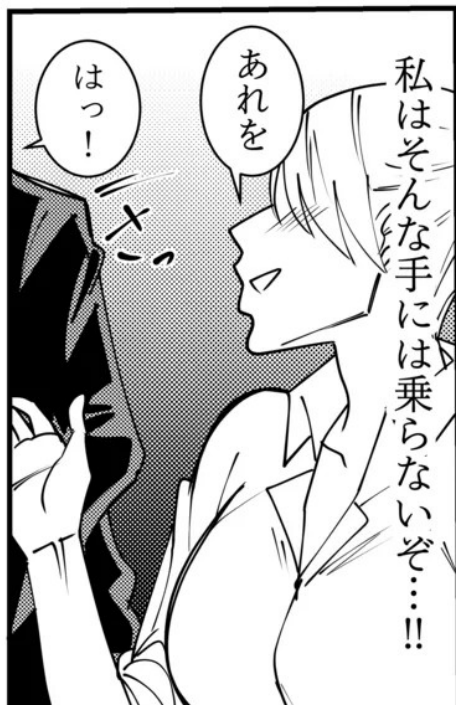
…はっ  
随分とまあ  
悪趣味だな

気持ち悪い

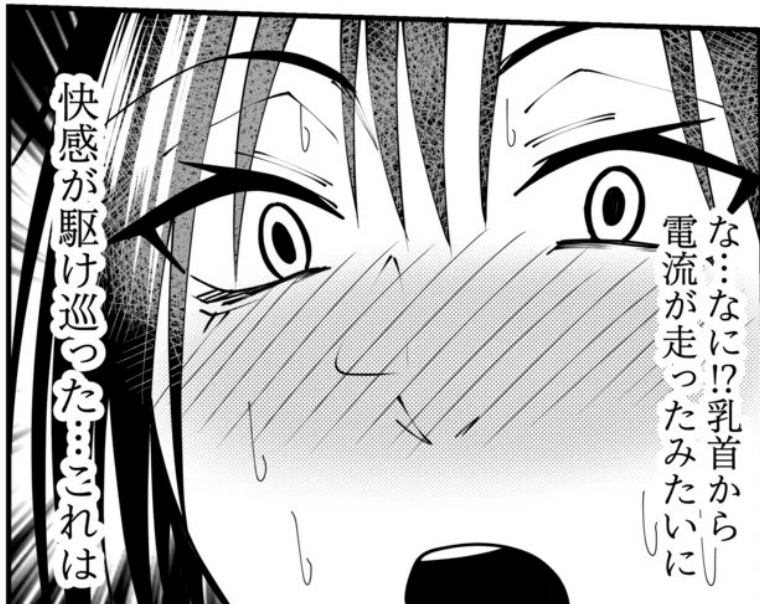
私は  
乳首なんか  
性感帯じゃないし

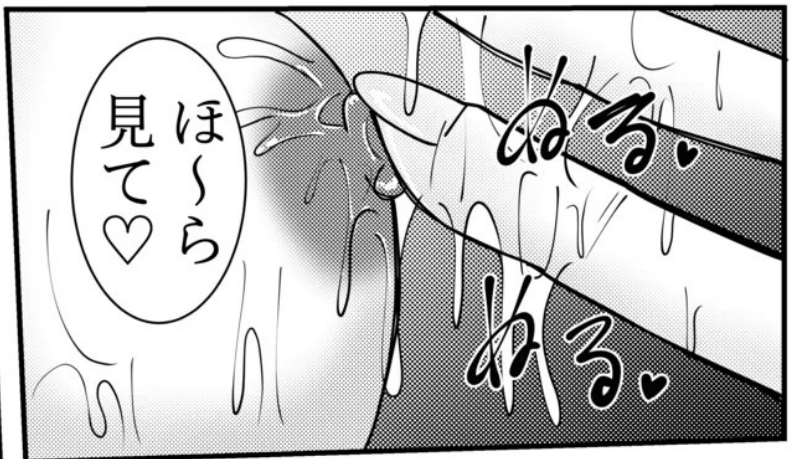
お前が何しようとして  
私はこのまま  
解放されるまで  
口を閉ぎすただけだ

あらあら  
それは残念…











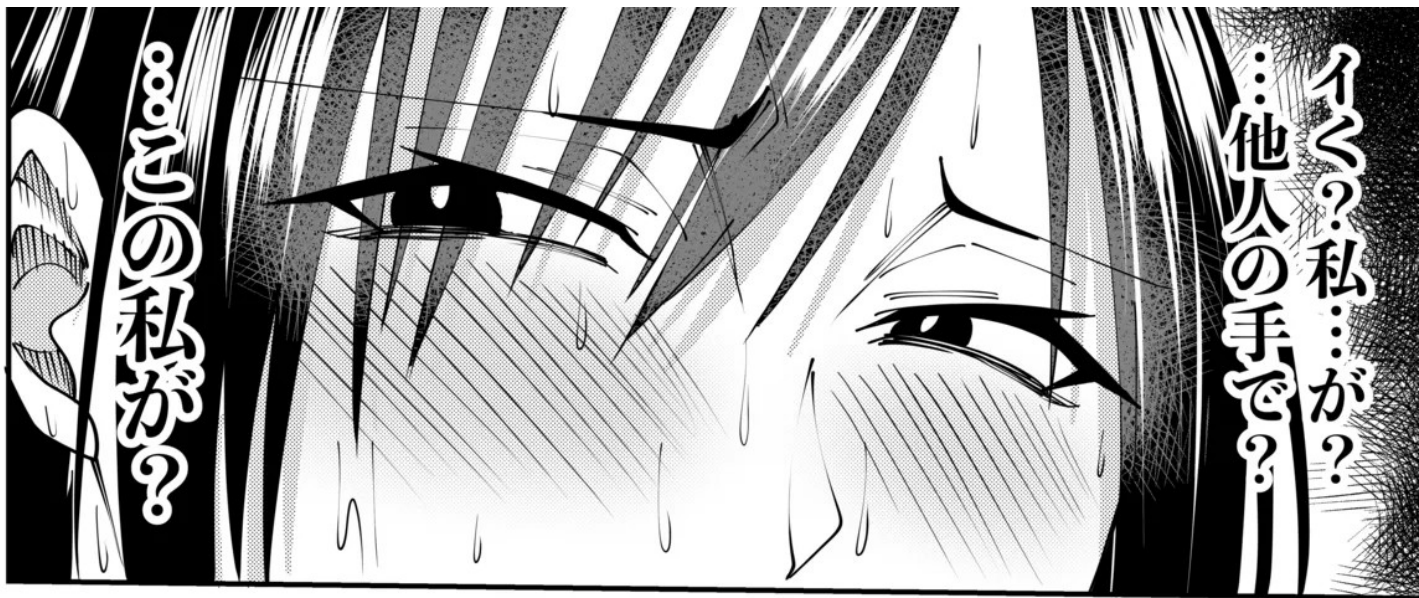












イく？私：が？  
…他人の手で？

…この私？



え…いやっ…これ

ちよまつ



クリトリ



刺激をおつつ♡

…おま



ありえないっ！！

絶対耐えきってみせ…

ぬり

ぬり

ぬる

ぬる

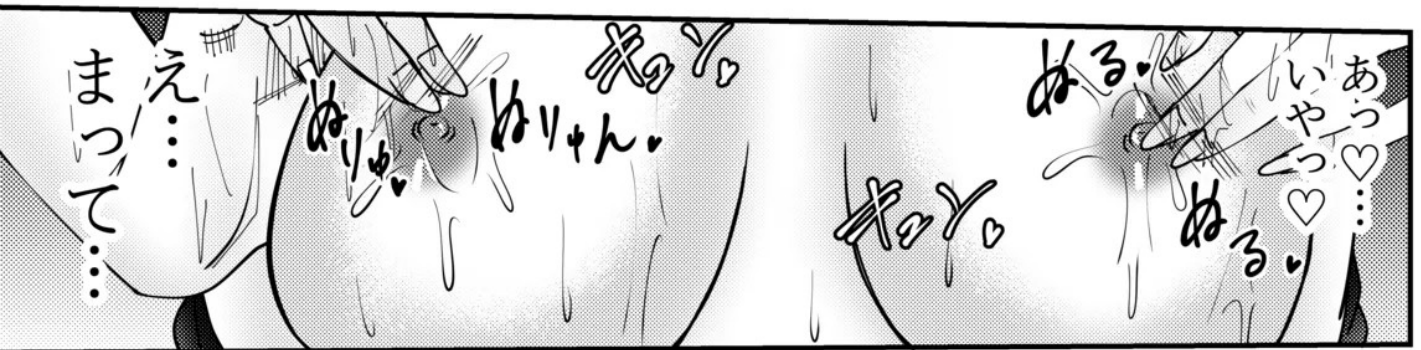
♡



屈辱すぎる……!

他人の前で  
曝け出すなんて

く……そ……こんな姿



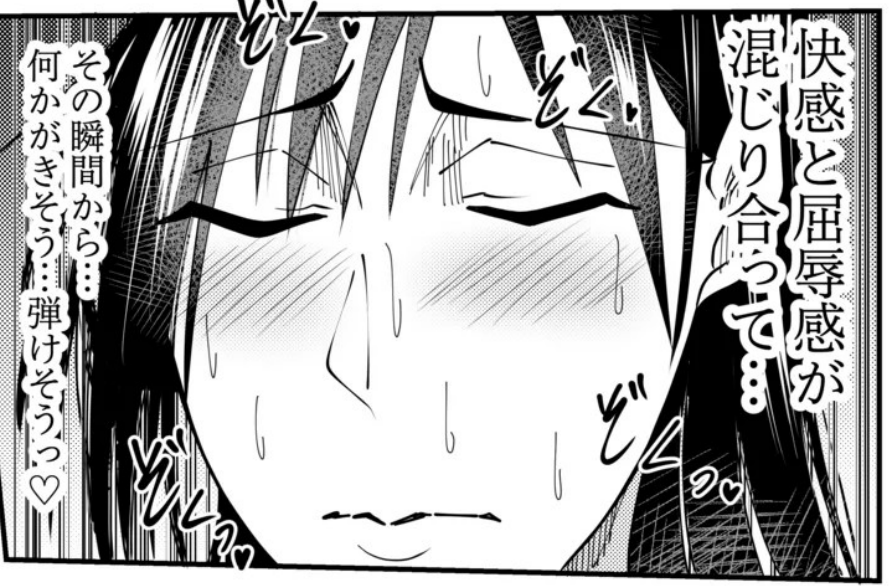
ま……  
え……

あ……  
いや……



くるっ♡

あ……



その瞬間から……  
何かがきそう……弾けそうっ♡

快感と屈辱感が  
混じり合っで……



まさか……!!  
いや……まるで……これ

ウソ……この感覚

